

例年、事業報告・決算報告並びに事業計画・予算については、報告会にてご報告しておりましたが、昨年続くコロナ禍のため、今年度も報告会を中止といたしました。つきましては、本紙面上での報告に替えさせていただきます。  
 なお、報告等の詳細は冊子にして、各事業所に備え置きますので、そちらをご覧ください。

## 令和2年度 事業報告・収支決算報告

### 1. 運営概況

#### (1) 法人全体

新型コロナウイルス感染症に大きな影響を受けた一年でした。

通所の支援では代替手段(電話、Skype、zoomなど)を利用するようになりました。グループホームでも感染対策のため、食事時の団らんが失われました。余暇活動も思うようにできず、仲間と過ごす時間が無くなってしまいました。

「つながり」が失われそうになりましたが、利用者のために動画をホームページに掲載したり、緊急事態宣言解除時は感染防止対策を万全にし、密にならないような人数で活動を行ったりしました。通所の施設も宣言解除時には、みな通所を望みました。

心の鐘コンサートも感染対策をして、開催することができました。大勢のお客様に来ていただくことができました。コロナ禍において、あかねの会を応援していただける皆様との「つながり」を実感できる年になりました。

#### (2) 各部の状況

##### ① 発達支援部

春日町教室を令和2年4月より放課後等デイサービスと児童発達支援の2事業所としました。大泉教室は老朽化している建物から、耐震基準を満たす建物の1階に移転し、バリアフリーを実現しました。北千住教室は適切な人員配置が困難なため、令和3年3月末で閉室としました。

##### ② 就労支援部

就労移行支援事業を令和2年12月末で廃止しました。カフェレストランわれもこう目黒店を令和3年3月末で廃止しました。大泉就労支援室を令和3年3月1日に開設しました。コロナ禍により生産活動には大きな打撃をうけました。

##### ③ 生活支援部

生活介護支援事業所みのりの定員を12名から14名に増員しました。みのりの土曜開所やグループホームでの土日の見守りなどの必要性が、高齢化等により高まりました。

##### ④ 余暇支援部

緊急事態宣言下は、おでかけ、ひだまりとも中止としました。再開時の利用者の様子から余暇活動がいかに人生にとって大切かを改めて感じました。

##### ⑤ 相談支援部

コロナ禍においても、サービス等利用計画書の作成は必須なので、電話等を利用した相談も行いました。

## 2. 決算 (単位:百万円)

資金収支計算書  
(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

|             |     |
|-------------|-----|
| 事業活動による収支   |     |
| 収入          | 721 |
| 支出          | 657 |
| 収支差額        | 64  |
| 施設整備等による収支  |     |
| 収入          | 1   |
| 支出          | 17  |
| 収支差額        | -16 |
| その他の活動による収支 |     |
| 収入          | 26  |
| 支出          | 13  |
| 収支差額        | 12  |
| 当期資金収支差額合計  | 60  |
| 前期末支払資金残高   | 101 |
| 当期末支払資金残高   | 162 |

事業活動計算書  
(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

|             |     |
|-------------|-----|
| サービス活動増減の部  |     |
| 収益          | 721 |
| 費用          | 665 |
| 増減差額        | 56  |
| サービス活動外増減の部 |     |
| 収益          | 1   |
| 費用          | 1   |
| 増減差額        | 0   |
| 特別増減の部      |     |
| 収益          | 1   |
| 費用          | 11  |
| 増減差額        | -10 |
| 当期活動増減差額    | 46  |
| 前期繰越活動増減差額  | 116 |
| 当期末繰越活動増減差額 | 162 |
| 次期繰越活動増減差額  | 162 |



大泉就労支援室

貸借対照表  
令和3年3月31日現在

|        |     |             |     |
|--------|-----|-------------|-----|
| 資産の部   |     | 負債の部        |     |
| 流動資産   | 202 | 流動負債        | 54  |
| 固定資産   | 481 | 固定負債        | 90  |
|        |     | 基本財産        | 462 |
|        |     | 負債の部合計      | 144 |
|        |     | 其他固定資産      | 19  |
|        |     | 純資産の部合計     | 538 |
| 資産の部合計 | 682 | 負債及び純資産の部合計 | 682 |

## 令和3年度 事業計画・予算報告

### 1. 法人理念及び方針

#### ○理念「障がい者を納税者に」

- － ①障がいがあっても社会の一員として、当たり前のように働いて納税する。
- － ②障がいがあっても一人の人間として、自分らしく生きる。
- － ③ ①と②が実現できるようあきらめない支援を行う。

#### ○方針(サービス目標)

- － 利用者も職員も「われもこう」のように、誰かのために何かの役に立っているという充足感を持ち、思いやりの笑顔であふれる職場を目指す。

### 2. 令和3年度重点方針及び事業計画

令和3年度も引き続き、利用者の高齢化対策及び新型コロナウイルス感染症対策を進めます。同時にあかねの会のサービスが今後も継続できるように、職員の育成と定着のための施策を実施していきます。

- ①理念の理解・支援力向上(理事長研修の全職員必須受講及び他部署研修の継続実施)
- ②虐待防止(虐待防止研修の受講必須及び風通しの良い職場作り)
- ③職員が働きやすく、力を発揮できる職場作り(グループ研修の継続実施など)
- ④職員の次世代育成(中間層育成のための研修輪旋)
- ⑤利用者及びその家族の高齢化への対応(生活介護事業所みのり拡充及び高齢化・重度化に対応したグループホームの開設、グループホーム利用者の土日の見守りの充実など)
- ⑥地域の人々に集ってもらえる場所作り(コロナ感染状況により見直しあり)
- ⑦大泉地区の充実(大泉教室及び大泉就労支援室の拠点化、農福連携の推進)
- ⑧自然災害等への対応(BCP(事業継続計画)の作成)
- ⑨事務効率化及びICT活用
- ⑩令和元年度及び2年度に整理した事業の評価

### 3. 法人行事予定

7月4日(日)第24回あかねの会発表会(報告会は中止としました)

8月8日(日)スペシャルあかねっこコンサート2021

11月22日(月)第24回心の鐘コンサート



### 4. 予算 (単位:百万円)

|             |      |     |     |     |    |    |     |
|-------------|------|-----|-----|-----|----|----|-----|
| 勘定科目        | 本部   | 発達  | 就労  | 生活  | 余暇 | 相談 | 合計  |
| 事業活動による収入計  |      | 122 | 292 | 288 | 34 | 7  | 743 |
| 事業活動による支出計  | 0.5  | 94  | 270 | 276 | 34 | 10 | 685 |
| 収支差額        | -0.5 | 28  | 22  | 12  | 0  | -3 | 58  |
| 施設整備等による収入計 |      |     |     | 20  |    |    | 20  |
| 施設整備等による支出計 |      |     | 1   | 40  | 2  | 2  | 45  |
| その他活動による収入計 |      |     |     |     |    |    |     |
| その他活動による支出計 | 10   | 1   | 10  | 2   |    |    | 23  |
| 経常損益金額      | -10  | 27  | 11  | -10 | -2 | -5 | 11  |

- ・施設設備等による収入  
グループホーム新設のための設備整備費 2,000万円
- ・施設整備等による支出  
グループホーム新設のための費用 2,400万円  
みのり事業所移転費用 1,600万円  
カフェ光が丘・あかねっこ弁当備品修繕等 96万円  
余暇・相談事業所移転費用 各200万円
- ・その他活動による支出  
修繕積立金 1,000万円  
発達借入金返済 71万円、就労借入金返済 1,019万円、生活借入金返済 192万円

詳細につきましては、各事業所に備え置きます冊子でご確認ください。ご不明点やご意見がございましたら、以下の担当までお問い合わせください。

事務局長 平松嘉美 03-3577-7421